

最初は、きん張しなかったけれど、演武がするのが近づく、上手にできるかだんだんきん張してきました。待っている時は、とてもきん張したけれど、演武をしている時はきん張がほぐれて、練習通りに出来ました。

翔平は練習の時よりも上手に出来ていました。伊藤さんや松本君も練習通りに出来たのでとてもうれしかったです。

今度、また参加出来たら、もっと上手になって、みんなと演武したいです。

今の目標は黒帯になることです。黒帯になるためにもっと練習して、上手になりたいです。

平安神宮奉納演武会を終えて

拳正会空手道 拳志館 中一 藤中 彩光

初めに話を聞いた時は、「僕に声をかけてもらえるなんて」と言う気持ちと「僕なんかが拳正会を代表して武徳会の演武会に参加しては失礼だ」と言う気持ちがありました。

昨年の厳島神社での奉納演武に続いて二回目でしたが、厳島神社の時は手の甲を骨折してギブスをした状態での演武だったのでしっかりとできませんでした。ギブスが無ければもっとしっかりと演武ができたのには思いましたが、他の武道の人達の演武を見て自分には力不

足だと実感しました。僕が空手をはじめたのは、幼稚園の年中で四歳のときでした。未熟児で生まれたせい、友達より身体は小さく兄弟もいないので、けんかもした事ありませんでした。そんな僕に母は「男の子は強くなつて女の子を守らない」と幼稚園の友達が入門していた今の道場に通わせました。僕にとって練習のある火曜日と金曜日は嫌な日でした。館長には大きな声で怒られるし、行きたくないのに、寝たふりをして、祖父にしがみついて泣いても母は休まず連れて行きました。それでも初めての大会で負けたのが悔しくて、もっと練習しようと頑張りました。小学二年の時から組手に参加しましたが弱虫の僕は、痛くて泣いてばかりいました。

やはり最初は組手をしなくてもいい方法を考えましたが母に無理やりやらされました。

でも初めて試合で勝った時は「もっと練習すればもう少し上になれるのでは」と練習の成果を感じました。師範には「型を練習すれば組手も強くなる」と教えられました。

その為にも毎日ストレッチをして柔軟運動をしています。まだまだ力不足ですが空手を始めて八年 継続は力なりの言葉通りこれからも練習に励み、空手道を通じて技術面はもちろんですが 礼の心 精神力を鍛えていきたいと思えます。

そして一生空手を続けていきたいと思えます。この度は素晴らしい経験をさせて頂きありがとうございます。

押 忍

